

平成30年度

かほく市総合教育会議
議 事 録

平成31年2月20日

議 事 録

平成30年度 かほく市総合教育会議議事録	
招集年月日	平成31年2月20日(水)
招集の場所	かほく市役所 304会議室
開 会	平成31年2月20日(水) 午後2時00分宣告
出席者	市長 油野 和一郎
	教育長 山越 充
	教育長職務代理者 山本 滝男
	教育委員 松井 三枝子
	教育委員 長柄 悦子
	教育委員 鮎野 武利
事務局	教育部長 山口 吉男
	学校教育課長 笹山 明夫
	生涯学習課長 折戸 靖幸
	教育センター 所長 西尾 康弘
	学校教育課 課長補佐 北川 直紀
	生涯学習課 課長補佐 新田 陽介
	学校教育課 主査 杉角 浩一
協議・調整事項	1) かほく市教育大綱(第2期かほく市教育振興計画)の策定について 2) (仮称)かほく市総合体育館整備基本構想について 3) 教職員の働き方改革について 4) その他

開 会

【山口教育部長】

平成 3 0 年度かほく市総合教育会議を開催します。

市長あいさつ

【油野市長】

教育委員の皆さんには、日ごろから、かほく市の教育の推進にご尽力いただきお礼を申し上げます。

昨年度の総合教育会議では、教育大綱（教育振興基本計画）の見直し、教職員の働き方改革、小中学校での外国語教育、七塚小学校の長寿命化改修について協議をさせていただきました。

今年度は、外日角小学校の工事に着手するとともに、七塚小学校では実施設計に取り組んでいる。

また、外国語（英語）教育についても、新学習指導要領の先行実施のために小学校に日本人の英語指導助手を配置した。

教職員の負担軽減については、教育委員会として、教職員多忙化改善取組方針を定め、部活動のあり方、学校閉庁日の指定などの負担軽減対策を実施し、一定の効果があつたとの報告を受けている。

今年度の総合教育会議では、「教育大綱（教育振興基本計画）」の策定、「(仮称)かほく市総合体育館整備基本構想」、昨年に引き続き「教職員の働き方改革」についてご意見を伺いたい。

子供たちの教育は、市にとって大きな施策のうちの一つとして捉えており、教育環境の整備については、これからもしっかりと進めて行きたい。

今後も引き続き、かほく市における教育の充実に向け、これからも連携強化を図っていきたいと思っているので、教育委員の皆様のご協力をお願いします。

【山口教育部長】

市総合教育会議運営要綱第 3 条の規定に基づき会議の議長は教育長とする。

議事進行は議長である山越教育長にお願いする。

議事録署名委員の指名

【山越議長（教育長）】

運営要綱の規定により会議の進行をします。市総合教育会議運営要綱第 4 条第 3 項の規定に基づき議事録の署名を油野市長、山本教育長職務代理者をお願いする。

協議・調整事項

かほく市教育大綱（第2期かほく市教育振興計画）の策定について

【山越議長】

かほく市教育大綱（第2期かほく市教育振興計画）の策定について、事務局から説明願う。

【山口教育部長】

- ・資料により、改訂の趣旨、計画の位置づけ、改訂のポイント、計画の体系（6つの「基本目標」、パブリックコメントに対する回答について説明をなす。

【山越議長】

一般論で言う教育大綱というものは、方向性を定めたものであるが、平成27年の総合教育会議において、教育振興基本計画を教育大綱に充てるという決定をいただいている。

このようなことから、第2期かほく市教育振興計画を改定したものが、市の教育大綱となる。

見直し（改定）にあたりこれまで、教育委員会では、各種団体の意見を聞きながら、教育委員会会議で取りまとめてきた。31年度は、かほく市誕生より16年目を迎えることから、合併の優遇措置が無くなり独り立ちしていく年となる。

また、地方創生総合戦略の最終年も来年度となる。さらには、学校教育でいうと新学習指導要領の先行実施の年にもなる。そういうタイミングでの改訂となり、今後のかほく市の教育の方向性を示す大変重要な計画となる。第2期教育振興基本計画の特徴としては、評価をすることに重点を置き、目標数値の設定を多くしている。まずは、教育委員会を代表して、これまでの経緯を述べさせていただいた。

教育委員の方から大綱の中身について、補足があれば発言願う。

【山本教育長職務代理者】

新学習指導要領の対応についても網羅された計画となっており、新しいスタートを切るための計画となっていると思っている。

これまでも提案してきたが、ふるさと学習の拠点ということで、かほく市の歴史・文化や偉人などを紹介するような場所が確保されることとなっている。

また、かほく市となって15年、子供たちも旧三町のことを知らない世代となってきた。旧町時代から、現在のかほく市の地誌編纂に取り組むことが盛り込まれ大変喜んでいる。

【油野市長】

来年度の予算の中で、海と渚の博物館内に「ふるさと資料展示室」を整備することとした。また、予算には計上していないが、かほく市の地誌編纂に取り組むこととしている。

合併当初は、財政的にも大変厳しいこともあり真に必要な事業にしか取り組めなかった。そのような中でも子供たちの教育環境の整備についてはしっかり取り組んできた。最近では、市の財政的な指標も改善され、新たな事業に取り組めるようになった。このあ

との総合体育館の整備もそうだが、子供たちの健やかな成長につながればと思っている。

【松井教育委員】

新聞で、自治体アンケートの記事を見た。合併による成果について、かほく市は着実に財政健全化へ道筋が示され、県内でも上位であると掲載されていた。かほく市は、旧3町のバランスを考えた運営で、改めて大変だったんだらうなと感じながら今日の総合教育会議に参加している。

合併して、3中学校は非常に良い形での影響が出ていると感じている。互いの学校が意識しながら高めあい、そういう合併のメリットもあったのではないかな。

去年は、小学校に日本人の英語指導助手の配置をしていただき大変ありがたいことだと感じている。その助手を有効に活用するのは教員ではあるが、今後とも教育環境の整備に力をお借りしながら、教育関係に対する支援をお願いする。

学校と地域のつながりは大切である。地域のコミュニティ、地域のバランスということについて市長はどのように感じているか。

【油野市長】

地域のコミュニティについては、旧町単位で形態が違っている。その形態を統一するのは難しいが、それぞれの地域で取り組んできたことを、これからも連携して取り組んでほしいと考えている。例えば老人クラブを例に挙げてもそれぞれの地域で運営の方法が違っている。それぞれの取組を大切にしたいし、応援もしたい。地域から提案のあったものは、できるだけ応援したいと考えている。

【長柄教育委員】

新学習指導要領の中に外国語教育と情報活用能力、プログラミング教育が拡充されている。市長はどちらかに重きを置いているということはあるのか。

【油野市長】

私は、どちらも大切であると思っている。自分からこれに力を入れてくれとか、こっちを優先するとかと言ったことはあまりない。教育に直接携わっている方たちからの意見、提案に対して、しっかりやってほしいという思いで予算をつけている。子供たちの教育は、時間もお金もかかるが、非常に大切な部分であると思っている。これからも教育委員会が大切な事業だと提案したことは、しっかりやらせてもらおうと思っている。

【鮎野教育委員】

合併当時は、財政状況も厳しかったというお話をお聞きしたが、教育委員となって、学校などの現場を拝見させていただき、かほく市はとても恵まれていると実感している。

そういった中で、学校での低学年の学習規律、授業を聞く姿勢が気になっている。こども園との連携を含めた、こども園から中学校までの一貫した教育体制が整えられないものか。

また、若い世代の地域、学校行事への参加が低下している。若い世代のコミュニティ・スクールへの参加・協力について、もっと情報発信していくことが大切であると思う。

【油野市長】

コミュニティ・スクールについては、子供たちが健全に育ってくれて、地域の皆さんも関わりを持ち、学校を核とした地域づくりにつながってくればよいと思っている。

また、市内の学校は小規模校や大規模校があり、それぞれの地域の特色を生かした学校運営を行っている。こども園から中学校までの一貫した教育体制は地域の特性もあり難しいのではないかと考えている。

【山越議長】

こども園との連携については、教員と保育士の意識の違いがあると感じているが、これからも連携は進めていくべきであると考えている。

一応皆さんの意見をお聞きした。

第2期かほく市教育振興基本計画（かほく市教育大綱）を策定するというので、決定してよろしいか。同時に第2期かほく市教育振興基本計画をかほく市教育大綱としてよろしいか

（異議なし）

【山越議長】

異議なしということで、この会議をもって、第2期かほく市教育振興基本計画（かほく市教育大綱）が策定されました。

（仮称）かほく市総合体育館整備基本構想について

【山越議長】

次に、（仮称）かほく市総合体育館整備基本構想について、事務局の方から説明願う。

【山口教育部長】

資料により、（仮称）かほく市総合体育館の施設整備の背景、整備に当たっての基本コンセプト、施設整備想定規模、施設整備の方針について説明をなす。

【山越議長】

（仮称）かほく市総合体育館整備基本構想については、1月24日に開かれた教育委員会会議において、承認しておりますので、建設、整備について意見交換したいと考えている。まず、市長の方から整備に当たっての思いについて発言を願う。

【油野市長】

河北台健民体育館は、昭和52年に建設され、やがて42年が経過しようとしている。

かほく市には、これまでも、子供たちの剣道大会、バドミントン大会を開催しているが、観覧席や空調が備わった体育館でないため、全国大会の開催は難しい。

また、子供たちが、実際に地元にある素晴らしいチームの試合も観ることが出来ない。県内には、全国トップクラスの競技団体もある。子供たちには実際にトップチームのプレーを観て、スポーツの素晴らしさを感じてもらいたい。

そういったものをかほく市で整備できればありがたいと思っている。財政的にも総合体育館の整備に取り組んでも、ほかのサービスを低下させなくても、取り組める目途が

たったので、ご理解いただければと思う。

【山本教育長職務代理者】

聞くところによると、このような規模の体育館があるのかという声も耳にする。そういった人たちにも理解してもらえるように進める必要がある。市民がいつでも使えるというのが大切である。

【油野市長】

山本委員が言われたように、そういったものが必要だということを議員もそうですし、教育委員にも理解してもらいながら、一緒になって作り上げてほしい。

7割、8割の人が必要ないというのであればやる必要がない。スポーツ関係の方々からも進めるべきとのご意見や財政的な心配をされる方もおいでるので、しっかり説明していきたい。

【松井教育委員】

私は、この総合体育館の整備構想が上がった時、なぜ今という思いを持った。今、市長の話聞いて、子供たちに刺激を与えることも大切。将来的なことを考え、かほく市の力量をみせる一つとして納得している。子供たちに臨場感のあるスポーツを見せるということは大切である。

【鮎野教育委員】

総合体育館の事業規模などは、決まっているのか。

【油野市長】

まだ、決まっていない。

今は、構想と建設場所について理解をいただいたところである。議会からは、せっかく整備するのだから、中途半端な施設にならないようにとの意見をいただいている。結局は、観覧席の規模をどうするかだと思う。アリーナの部分は決まってくる。常設の観覧席をどれだけ整備して、可動席をどうするかによって、予算も大きく違ってくると思っている。

【鮎野教育委員】

観覧席を整備することによって、収益を生むようなことを考えるのか。

【油野市長】

収入というのは、そんなに考えられない。いろいろな事業を行い、集客して収益を得るというのは考えにくい。今の河北台健民体育館と同様に、健康づくり、体力づくりなど、まずは市民の皆様にご利用してもらおうことが大切であると考えている。

【山越議長】

総合体育館の整備については、このあたりで終わります。
次の議題にいきたいと思います。

教職員の働き方改革について

【山越議長】

教職員の働き方改革について、事務局の方から説明願う。

【笹山学校教育課長】

資料により、昨年度策定した「かほく市学校教職員多忙化改善取組方針」の概要と昨年度と今年度の市内教職員の時間外勤務状況について説明。

【山越議長】

教職員の働き方改革については、今年度の取組状況の報告のみとする。

そ の 他

【山越議長】

最後に、その他ということで、何かご意見等ありましたら願います。

【山本教育長職務代理者】

市長には、運動会など学校現場を見ていただき感謝している。引き続き学校現場に足を運び、これからも市の教育施策の推進をお願いする。

【山越議長】

その他、ご意見がないようであれば議事進行を事務局にお返しする。

閉 会

【山口部長】

以上で、平成30年度かほく市総合教育会議を閉会します。
お疲れ様でした。

午後3時28分 閉会

議長（教育長） 山 越 充

署名（市 長） 油 野 和一郎

署名（教育委員） 山 本 滝 男